

幼児の発音で気を付けたいこと

乳幼児の育ちと学び支援センター

幼児教育アドバイザー 近藤 公



おおよその構音の完成

3歳ごろまで 母音、パ行、マ行、バ行、ヤ行、タ行(ツを除く)、ダ行(ヅを除く)

3歳代 カ行、ガ行、

4歳代 ワ、ナ行、ハ行

5歳代 サ行、ザ行、ラ行、ツ



こんな発音に気づくことはありませんか？

- ・カ行がタ行に

ミカン→ミタン、ヒコーキ→ヒトーチ、ケムシ→テムシ

- ・サ行がタ行・チャチュチョに

アサガオ→アタガオ、サル→タル、チャル

- ・ガ行がダ行に

メガネ→メダネ、ワナゲ→ワナデ

- ・ツがチュに

ヒトツ→ヒトチュ、ツミキ→チュミキ

- ・言い間違い

トウロモコシ おすくり おかさな やらわかい



5～6歳になってもはっきり発語ができなかったら？

口の動かし方や息の出し方に難しさがあったり、言葉を正しく聞き取れないのかもしれないかもしれません。ことばの教室や言語聴覚士在籍の医療機関での相談をお勧めします。

言い間違いは、自然に消失することがほとんどです。

でも、、

正しい発音で話していないと、書く時も自分の発音のとおりを書くので、間違いが見られることがあります。

がんばって→だんばって

空のくじら→空のくじだ



園や家庭でできることは？

- ・コミュニケーションが楽しくなるような関わり。

- ・おしゃべりが好きな子に。

- ・正しい発音・言葉でよいモデルに。

- ・口や舌をしっかり動かす。

 - よく噛んで食べる。

 - ぶくぶくうがい。

 - ストローを使って飲む。

 - 息をはく・出す・ふく。 シャボン玉や風船をふくらます、しりとり・かるた等のあそび



きつおんについて

- ・ことばが「言いにくくて」、「困ること」

- ・子どもだと100人に5人くらいの割合で見られます。

「ぼ、ぼ、ぼ、ぼく」「ぼおーく」「・・・ぼく」

- ・子どもは2歳から4歳くらいに発症。はっきりした原因はわかっておらず有効な治療方法はありません。

- ・対応の仕方は

普段からゆったりとかかわり、その子の良さを認めます。

どもっていても最後まで聞きます。「落ち着いて」「ゆっくり」などの言葉かけはいりません。

- ・まわりの子どもへは、わざとではないことを伝えましょう。



参考資料

- ・山崎 祥子 子どもの発音とことばのハンドブック 芽ばえ社 2011
- ・だれでもできる発音・発語指導(柳生浩 湘南出版)
- ・ネットで学ぶ発音教室(国立特別支援教育総合研究所)
- ・吃音ポータルサイト(金沢大学人間社会研究域学校教育系小林宏明のホームページ)
- ・長野県立こども病院口唇口蓋裂センターホームページ

